



岩屋 防衛大臣来沖



○下左部写真：名護市長との会談

○上写真：沖縄県知事との会談

○下右部写真：宜野湾市長との会談

目次

CONTENTS

岩屋防衛大臣の沖縄訪問・・・ 1～2
 普天間飛行場代替施設建設事業の進捗状況・・・ 3
 宮古島駐屯地（仮称）整備工事の進捗状況・・・ 4
 石垣島への陸上自衛隊部隊配置について・・・ 4
 特別優秀工事等顕彰及び優秀工事等顕彰について・・・ 5
 入札・契約制度説明会について・・・ 5
 名護市再編交付金事業について・・・ 6

防衛施設周辺対策事業・・・ 6
 辺野古大綱引2018・・・ 7
 豊原区アプシバレー・ハーレー・・・ 7
 辺野古区・豊原区民運動会開催・・・ 7
 久米島空港で発生したUH-1Yヘリによる予防着陸について・・・ 7
 平成30年版防衛白書の刊行・・・ 8
 合衆国軍隊の構成員等による行為で被害を受けられた方へ・・・ 8

岩屋防衛大臣の沖縄訪問

岩屋防衛大臣は、11月9日から11日の日程で、大臣就任後初めて沖縄を訪れました。

10日午前には沖縄県庁において玉城沖縄県知事と会談を行い、その後、平和祈念公園において国立沖縄戦没者墓苑に献花し、平和の礎等を訪れました。

午後には、名護市において渡具知名護市長と、宜野湾市役所において松川宜野湾市長とそれぞれ会談を行いました。

翌11日には、航空自衛隊那覇基地、陸上自衛隊那覇駐屯地及び海上自衛隊第5航空群を視察し、隊員に訓示しました。



国立沖縄戦没者墓苑に献花する岩屋大臣



大分の塔へ献花する岩屋大臣



航空自衛隊那覇基地



訓示の様子



海上自衛隊第5航空群

普天間飛行場代替施設建設事業の進捗状況

キャンプ・シュワブにおける普天間飛行場代替施設建設事業につきましては、昨年11月から辺野古側の護岸工事に着手し、8月時点で概成しました。その後、8月31日に沖縄県から公有水面埋立承認の取消（撤回）処分がなされたことから、当該護岸工事を含め、全ての工事を中止しておりましたが、10月30日に当該取消（撤回）処分について、国土交通大臣が、その効力を停止する決定を行ったことから、11月1日から海上作業を再開いたしました。

普天間飛行場の辺野古移設をめぐる問題の原点は、市街地に位置し、住宅や学校で囲まれ、世界で一番危険とも言われる普天間飛行場の危険性の除去と返還です。当局としては、今後とも、普天間飛行場の一日も早い全面返還を実現するため、全力を尽くす考えです。



(平成30年11月撮影)



(平成30年11月撮影)

外周フロートの設置状況



(平成30年11月撮影)

汚濁防止膜の設置状況

環境監視等委員会（第16回、第17回）を開催



第16回環境監視等委員会での議論の様子

8月2日（第16回：防衛省及び沖縄防衛局）及び11月28日（第17回：防衛省及び沖縄防衛局）、「普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境監視等委員会」を開催しました。

委員会では、海草類の生育範囲拡大に関する取組などについて当局から説明を行い、質疑応答が行われました。

普天間飛行場代替施設建設事業の実施に当たっては、これまでも環境監視等委員会の指導・助言を踏まえ、適切な環境保全に努めてきたところであり、今後とも引き続き、同委員会の指導・助言を得ながら適切に進めてまいります。

陸上工事に係る安全講習会を実施



陸上工事に係る安全講習会の様子



4月17日、「海上工事に係る安全講習会」を実施したところですが、引続き陸上工事について、6月27日、名護労働基準監督署の児玉監督・安衛課長、松橋労働基準監督官を招き、「陸上工事に係る安全講習会」を実施しました。

講習会では、松橋労働基準監督官から過去の事故例等の説明や現地講習会を行い、工事施工業者の安全意識の更なる向上を図ったところです。

当局としては、引き続き作業の安全に十分留意した上で、関係法令に基づき、普天間飛行場代替施設建設事業を進めてまいります。

宮古島駐屯地(仮称)整備工事の進捗状況

宮古島における宮古島駐屯地(仮称)の整備工事につきましては、昨年11月20日、造成工事に着手し、本年6月29日、造成工事を完了しました。

現在、各建物の鉄筋組立、型枠設置、コンクリート打設及び給排水等の工事を進めているところです。

当局といたしましては、工事の実施に当たり、引き続き作業の安全に十分留意した上で、地元住民の皆様の生活環境に配慮し、適切に実施してまいります。

なお、宮古島駐屯地(仮称)においては、平成30年度の警備部隊等新編を予定しており、中距離地对空誘導弾(中SAM)部隊及び地对艦誘導弾(SSM)部隊については、平成31年度以降に配置する計画です。



【隊庁舎・工事状況】



【食堂・福利厚生・工事状況】



【宮古島駐屯地(仮称)完成イメージ】

石垣島への陸上自衛隊部隊配置について

7月18日、中山石垣市長は「石垣島への陸上自衛隊駐屯地配備計画について、南西諸島圏域の防衛体制・防災体制の構築のために石垣島への部隊配備の必要性を理解した上で、それを了解し、今後は石垣市として同計画案への協力体制を構築し、用地取得、施設建設等について国及び防衛省からの要請、申請等が提出された場合は、関係法令及び本市の条例等に照らし合わせ、適正に行政事務手続きを進める」旨、発表されました。

防衛省といたしましては、引き続き、地元への丁寧な説明に努めつつ、石垣市とも相談しながら、石垣島への陸自部隊の配置ができるよう、必要な手続きを着実に進めてまいります。

特別優秀工事等顕彰及び優秀工事等顕彰について

防衛省では、地方防衛局等が発注する建設工事及び業務のうち、施工状況や実施状況が特に優れているなど、全国的に模範となるものについて、特別優秀工事等として大臣官房施設監が顕彰する制度を創設しました。

沖縄防衛局からは、4件の工事及び2件の業務並びにその技術者を推薦したところ、全ての工事等が選定され、8月31日に平井施設監から顕彰されました。

また、沖縄防衛局においても、工事成績評定点の高い工事等の中から、目的物の出来形又は品質の優れているものであって、他の模範とするにふさわしいものを選定し、調達部長から顕彰しております。

平成29年度に完成・完了した事案の中から、11件の工事及び6件の業務並びにその技術者を選定し、7月6日に井上调達部長が顕彰しました。

顕彰制度は、入札参加者の受注意欲を高め工事目的物の品質確保を図る等、施設取得の円滑な推進に資することを目的としており、顕彰された実績は、総合評価方式等における企業の施工能力の評価項目において加点することとしています。

今後とも当局が発注する工事へ積極的に参加していただきますようお願いいたします。



平井施設監による挨拶

●特別優秀工事

工事名	受注者
牧補 (H28) 警衛所等 (国道58号線沿) 新設等建築工事	新光産業㈱
牧補 (H28) 警衛所等 (国道58号線沿) 新設土木工事 (その1)	㈱太名嘉組
牧補 (H28) 警衛所等 (国道58号線沿) 新設土木工事 (その2)	㈱大寛組
牧補 (H28) 警衛所等 (国道58号線沿) 新設機械工事	尚平工業㈱

●特別優秀業務

業務名	受注者
西普天間住宅地区 (27) 磁気探査業務 (その2)	㈱沖縄中央エンジニアリング
北部訓練場 (28) 過半返還に伴う支障除去措置に係る資料等調査	アジア航測㈱



●優秀工事

工事名	受注者
空自那覇外 (27) 庁舎新設等建築工事	㈱太名嘉組
牧補 (H28) 外柵整備等 (国道58号線沿) 新設土木工事	南成建設・T.N.O.建設共同企業体
シュワブ (H27) 仮設道路工事 (7工区)	(有)北勝建設
コートニー外 (28) 保安施設 (0207) 新設等土木その他工事	(有)山城重機
旧嘉手納飛行場 (28) 土木工事	㈱協亜建設
嘉手納 (H27) 知花地区外柵等整備工事	㈱丸政工務店
牧補 (H28) 警衛所等 (国道58号線沿) 新設電気その他工事	㈱沖縄特電
嘉手納 (27) 管理棟 (659) 新設機械工事	㈱オカノ
空自那覇 (27) 燃料施設新設設備工事	東海テック・比嘉工業建設共同企業体
コートニー (27) 管理棟 (0418) 新設機械工事	桐和空調設備㈱
与那国 (27) 駐屯地新設設備工事	㈱沖電工

●優秀業務

業務名	受注者
空自那覇外 (28) 訓練施設等新設建築設計	㈱泉創建エンジニアリング
宮古島 (28) 宿舍新設土木設計	㈱アジア技研
西普天間住宅地区 (28) 磁気探査業務 (その20)	㈱テクノサーチ
牧補 (H27) 国道58号線返還予定地土木設計	㈱協和コンサルタンツ
シュワブ (H27) 工場 (0529) 新設設備設計	㈱総合設備コンサルタンツ
宮古島 (28) 駐屯地新設設備基本設計	㈱産研設計

入札・契約制度説明会について

5月から10月にかけて、沖縄県建設業協会各支部、沖縄県電気管工事業協会及び商工会議所等に対して沖縄防衛局の建設工事に係る入札・契約制度説明会を実施し、多くの企業にご参加いただきました。

この説明会は、これまで関係団体等からの要請を受け開催しており、当局から建設工事に係る入札・契約制度について解説を交えながら説明させていただいているものです。

各説明会においては、冒頭、沖縄防衛局が発注する建設工事の入札・契約方式は、原則一般競争入札であり、また、価格と価格以外の要素を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式を導入していることとお話した上で、「優良な地元企業の受注機会の拡大のための数々の施策も導入していますので、説明会を通じ当局の入札・契約制度に対するご理解を深めていただき、多くの企業の皆様が当局の入札に益々参加していただけることを期待しています」との挨拶をさせていただきました。その後、当局担当者から当局における建設工事について、地元企業の皆様がより入札に参加しやすい環境の整備に係る施策等について説明を行いました。



沖縄県電気管工事業協会

名護市が行う再編交付金事業について

沖縄防衛局は、「駐留軍等の再編の円滑な実施に関する特別措置法」に基づき、駐留軍等の再編による住民の生活の安定に及ぼす影響の増加の程度等を考慮し、駐留軍の再編の円滑かつ確実な実施に資すると認められる場合に、再編関連特定防衛施設の周辺市町村に対して再編交付金を交付しています。

再編交付金は、公共用の施設の整備その他の住民の生活の利便性の向上及び産業の振興に寄与する事業に活用され、これまでに、各市町村において様々な事業が行われています。

このうち、今年度名護市において行われている、再編交付金事業を紹介します。

平成30年9月、名護市において、子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して子育てができるまちづくりを推進すること等を目的として、次の施策が事業化されました。

○学校給食事業(平成30年9月開始)

事業内容：名護市立の幼稚園、小学校及び中学校に在籍している園児・児童・生徒の保護者等に係る学校給食費の無償化

○幼保助成事業(平成30年9月開始)

事業内容：幼稚園（私立幼稚園については平成30年11月から助成開始）、認可保育所、認可外保育施設及び認定こども園等への保育料及び主食費等の助成

○こども医療費助成事業(平成31年4月開始)

事業内容：市内在住の6歳～18歳の通院費及び15歳～18歳の入院費の一部負担金の助成
※18歳とは「18歳に達した日以後の最初の3月31日までにある者」を指します。

【再編推進事業】(仮称)沖縄市多目的アリーナ建設工事起工式

9月25日、沖縄市コザ運動公園内建設予定地において、(仮称)沖縄市多目的アリーナ建設工事起工式が行われ、桑江沖縄市長をはじめ、島尻安伊子内閣府大臣補佐官、ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ(Bリーグ)大河理事長、施工業者の鹿島・仲本・太田・富建特定建設工事共同企業体代表者鹿島建設(株)押味社長などが、工事の安全を祈願しました。



多目的アリーナ完成イメージ

一万人規模の多目的アリーナは、コンサートや、エイサーイベントなど沖縄らしいエンターテインメントの発信の場として使用されるとのことです。

また、プロバスケットボール「Bリーグ」の琉球ゴールデンキングスのホームアリーナとして、更には2023年のFIBAバスケットボールワールドカップの開催地として使用される予定です。このアリーナが、沖縄市の地域活性化の起爆剤となることはもとより、沖縄県の観光振興に貢献するものと期待されています。

祝(仮称)沖縄市多目的アリーナ建設工事起工式



起工式で挨拶する桑江沖縄市長

恩納村に富着区公民館が完成

8月11日、恩納村富着区公民館の落成式典が開催され、長浜恩納村長をはじめ、多くの関係者の方々が出席し、施設の完成を祝いました。

本施設は、旧公民館の老朽化が著しいことから特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用して移転新築され、富着区民の自治活動の拠点となる施設として整備されました。

また、新築に伴い全面バリアフリー化が図られ、調理実習室や、雨天時でも行事が開催できるテラスが整備されており、伝統行事の継承の場として大いに貢献することが期待されています。



富着区公民館の外観

『辺野古大綱引 2018』 辺野古 11 班の活躍で大盛況

8月19日、名護市辺野古区の辺野古グラウンドにおいて、3年に一度の「辺野古大綱引2018」が開催されました。

当日は、辺野古11班であるキャンプ・シュワブからも、多数の海兵隊員とその家族が参加し、区民らと共に勇壮な綱引きを楽しみました。

辺野古区の歴史によれば、大綱引きの起源は、稲の収穫と次年の豊穡を祈願して行われる豊年祭で、方言で「ツナピケー」と呼称され、戦前から伝わる伝統行事として行われてきています。

綱は直径50cmを超え、長さ80mにもなり、手作りの大綱を東西に分かれて区民が引き合います。

綱引きの前には約100人の青年達が一斉に「たいまつ」を持って会場内を駆け廻る「テービーガーエー」で引手の士気を高め祭りの雰囲気を一層引き立てました。

辺野古区の嘉陽区長からは「辺野古11班の協力に感謝したい」旨、キャンプ・シュワブ隊員にねぎらいの言葉がありました。

区民により「綱打ち」された大綱は、参加した区民、来客及び海兵隊員が無病息災を祈願し、軒先などに飾るために持ち帰りました。



青い空、青い海を滑走するハーレー

7月15日、晴天の下、豊原クンジダー浜において、豊原区アブシバレー・ハーレーが開催されました。

平成8年から毎年行われている恒例の行事で、当局職員やキャンプ・シュワブの海兵隊員も毎回参加し、今回も地元地域の方々との交流を深める良い機会となりました。



挨拶をする宮城区長

『辺野古区・豊原区民運動会開催』

11月11日、爽やかな秋空の下、辺野古区・豊原区民運動会が同時開催されました。

辺野古区では11班であるキャンプ・シュワブからも多数の海兵隊員が参加し、区民らと交流を深め、大会を盛り上げました。

また、当局職員も辺野古区・豊原区民運動会の競技に参加し、会場を大いに盛り上げました。



白熱の代表リレー(辺野古区)

久米島空港で発生したUH-1Yヘリによる予防着陸について

予防着陸の概要

9月5日午後3時45分頃、普天間飛行場に所属するUH-1Yヘリ1機が、コックピット内の警告灯が点灯したため、久米島空港に予防着陸しました。

同機は、機体の安全点検を実施し、所要の整備が全て完了した後、同日午後5時14分頃、久米島空港を離陸、普天間飛行場に帰投しました。

防衛省及び沖縄防衛局の対応

本事案の発生の第一報を受け速やかに関係各所から情報収集を行い、状況把握に努めました。

また、米側に対し、航空機の運用にかかる確実な整備、点検の実施及び安全管理の徹底について強く要請を行うと共に、当局が入手した情報を速やかに関係自治体等へ提供しました。

平成30年版防衛白書の刊行及び地方自治体への説明



防衛白書は、わが国防衛の現状と課題およびその取組について広く内外への周知を図り、その理解を得ることを目的として毎年刊行しており、平成30年版は刊行44回目になります。

沖縄防衛局では、平成19年度より、防衛省の各種施策について理解を深めていただく一助となるよう、沖縄県をはじめ県内すべての市町村を対象に防衛白書の内容について説明を行っているところです。

平成30年版防衛白書は、核・ミサイル開発の動向を含む北朝鮮情勢や中国・ロシアによる我が国周辺での活動、宇宙・サイバー空間を巡る現状など、わが国を取り巻く安全保障環境について記述しています。また、防衛計画の大綱の見直しに係る検討の方向性、日米同盟強化の取組、自衛隊の各種活動、諸外国との防衛協力・交流などについても分かりやすく紹介しています。

今回の防衛白書では、新たな試みとして、巻頭特集においてAR(拡張現実)を活用し、弾道ミサイル対処の流れや緊急発進(スクランブル)の様子など、これまでの紙面だけでは表現できなかった隊員や装備品の「動き」を動画でご覧いただけるようにしました。「防衛省AR」アプリをダウンロードし、防衛省・自衛隊の動く姿をご覧ください。

防衛白書は官報販売所や一般の書店等で販売されているほか、防衛省ホームページ(<http://www.mod.go.jp/>)にも内容が掲載されています。また、民間電子書籍市場(kindleなど)において無料でダウンロードができます。

合衆国軍隊の構成員等による行為で被害を受けられた方へ

沖縄防衛局では、日米地位協定に基づき、合衆国軍隊及び構成員等(軍人・軍属)の不法行為により、当局管内で事故や事件で損害を受けられた方々への損害賠償業務を行っております。

- 米軍等の行為が**公務執行中**の場合(日米地位協定第18条5項)
 - ・被害を受けた損害額を**日本国政府**が支払います。
 - ・損害賠償金を請求できる期間は、事故が発生したときから**3年間**です。
- 米軍等の行為が**公務執行外**の場合(日米地位協定第18条6項)
 - ・原則として、一般の日本人同士の交通事故での保険解決のように、直接、加害者との間で示談解決する(※)こととなりますが、**示談により解決が困難な場合**、加害者に代わって合衆国政府が補償金の額を決定して支払います。
 - ・補償金を請求できる期間は、事故が発生したときから**2年間**です。

※米軍人・軍属が運転する私有車両(Yナンバー等)との交通事故の場合は、相手が加入している任意自動車保険の保険会社名・保険番号などを確認して、まずは、相手方の保険会社等へお問い合わせください。

【損害を受けられた方は、事故等発生後、お早めに下記の担当部署までご連絡ください。】



沖縄防衛局 管理部 業務課 事故補償係

電話：098-921-8131 内線 412～415まで

住所：沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納290番地9



ハイスাইくん

「はいさい」に対する皆様のご意見・ご感想などがありましたらお聞かせください。

連絡先：沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納290-9 沖縄防衛局総務部報道室

メールアドレス：houdou-ok@okinawa.rdb.mod.go.jp